

# みんなで森林づくり

詳細は

森もりスクエア

検索

## 防風保安林を活用した長沼町町民植樹祭

令和元年5月25日(土曜日)、快晴の天气に恵まれた中、長沼町内の国有林において33回目の町民植樹祭が開催されました。今回の植樹祭は、町の中心部の住宅街にある国有防風保安林で行われ、近隣の方の散歩コースになっているので「花の咲く木も植えてほしい」、「あの山に生えているマツの名前は?」、「防風林内のエゾエノキはオオムラサキの食樹となっているのでできるだけ残してほしい」など、直接地域の方からお話をいただき、有意義な植樹祭となりました。

(空知森林管理署)

## えりもワクワク森づくり体験事業植樹祭

令和元年5月28日(火曜日)、えりも町庶野の町有林において『えりも岬の緑を守る会』主催によるえりもワクワク森づくり体験事業植樹祭が開催されました。当日は爽やかな風と晴れ間が広がるなか、えりも町の小学生を含む213人が集まりました。会場では、カラマツ400本、ミズナラ200本、計600本の苗木を植樹しました。毎年参加を楽しみにしている方もおられ、手際よく植樹を行っていました。

(日高南部森林管理署)



## 「お魚殖やす植樹運動」

令和元年6月3日(月曜日)に当別町道民の森神居尻地区内「水源の森」において漁業、林業関係者など158名が参加し開催されました。この植樹運動は、豊かな森が豊かな海をつくるという考えから北海道漁協女性部連絡協議会を中心に、全道各地で取り組みが始まりました。今回はミズナラ・イタヤカエデ・ニレの苗木各250本合計750本を植樹しました。



(技術普及課)



## イワクラ第3回植樹祭

令和元年5月25日(土曜日)、苫小牧市丸山地区の国有林において、株式会社イワクラによる社会貢献の森「環境保全の森」第3回植樹祭が行われました。この場所は暴風雨により被害を受けた森林の整備活動にも取り組みたいとの思いから、社会貢献の森協定「環境保全の森」を平成28年度に当署と締結し、実施しているところです。当日は、天候に恵まれ、気温もどんどん上昇する中汗だくになりながら、カラマツとトドマツの苗木680本を約1時間ほどで植樹しました。

(胆振東部森林管理署)

## 「童話村」第35回植樹祭

令和元年5月12日(日曜日)、芝ざくら滝上公園にて、滝上町主催の「童話村」第35回植樹祭が開催されました。滝上町長より「かつて千本桜といわれるほど多くの桜で賑わっていたこの公園に、皆さんの手でまた桜を植えていきましょう」との挨拶があり、今年は、ニトリザクラ20本、エゾヤマザクラ80本の合計100本を植樹しました。バリアフリー規格を適用して新設された園路沿いには、エゾヤマザクラが植えられ、頂上付近のこの園路からは、芝ざくら滝上公園全体を見渡すことができます。

(西紋別支署)

# 国民の森林づくり感謝状

国有林では、毎年森林づくりや森林環境保護、国産材利用の推進など「国民の森林づくり」の推進に貢献いただいている方々や市民団体等に対して感謝状を贈呈しています。



「北海道・木育フェスタ2019」開会式

今年は、林野庁長官より「国民の森林づくり推進功労者に対する感謝状」をトムラウシ少年グリーンクラブ育成会へ、北海道森林管理局長より「国民の森林づくり感謝状」を一般社団法人旭川林業土木協会と森林ボランティア「オホーツクの会」に贈呈しました。



新島局長（左）のお祝いの言葉  
旭川林業土木協会新谷会長（右から3番目）

5月11日（土）、北海道庁赤れんが庁舎前において、「北海道・木育フェスタ2019」開会式が行われ、式に併せて新島北海道森林管理局長より、一般社団法人旭川林業土木協会新谷会長に感謝状の贈呈が行われました。

新島局長から、「先人の方々が植えた林が立派になり、災害の拡大を防いでいます。木材が使える時代になった今、しっかり木を使って、植えていきましょう。」との呼びかけとともに、多様な活動にご尽力頂いてい

ることに對する労いの言葉がありました。

5月25日（土）、森林ボランティア「オホーツクの会」の吉田会長に常呂川森林ふれあい推進センター所長から感謝状を伝達しました。



活動10周年の記念看板の前で森林ボランティア「オホーツクの会」吉田会長（左）

6月7日（金）、新得町立富村牛小中学校でトムラウシ少年グリーンクラブ育成会の関谷会長に東大雪支署長から感謝状を伝達しました。



トムラウシ少年グリーンクラブの皆さんと関谷会長（前列中央）

## 今月の表紙 カラマツ

北海道の初夏には、美しい風景が数々あります。

なかでも、カラマツの芽吹きの新緑は印象的です。

表紙の写真は、だんご三兄弟のように並んだカラマツの若い実です。

カラマツは、日本原産の落葉針葉樹で、本道には明治30年代に移入されました。

気候や土壌が合い成長が早いことから大規模な造林が行われました。

土木、建築、食器具、梱包材として利用されますが、強度が高く美しい木目が評価され、近年は住宅の建築用材としての利用も高まっています。

秋には、黄金色に輝く木の姿が美しく北海道ならではの風景です。

味覚の秋には、林床に生えるハナイグチの味噌汁もまた楽しみです。

## 行事・イベント情報

7月6日（土曜日）  
国有林モニター  
現地見学会

7月19日（金曜日）  
17時～20時30分  
「カルチャーナイト2019」  
（北海道森林管理局）  
木工教室等を予定しています。



もり  
広報 「北の森林 国有林」6月号  
発行 北海道森林管理局  
編集 総務企画部 企画課  
〒064-8537 札幌市中央区宮の森  
3条7丁目70  
I P 電話 050-3160-6300  
電話 011-622-5213  
F A X 011-622-5194